

令和4年度 北海道白糠養護学校 学校経営方針

学校教育目標	障がいのある児童生徒に対し、心身の発達に応じた教育を行うとともに、一人一人の個性を伸ばし、 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「思いやりのある人 進んで学ぶ人 たくましい人」 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○共に助け合い、思いやりのある豊かな心 ○自ら考え、学ぶ心 ○健康で、明るく、たくましく を育むとともに、よりよい生活の質を高められる人間を育成する。
校 訓	「一人一人の夢や希望を大切に受け止め、よさを生かし、未来を拓く」

↓

スローガン 児童生徒が 生き生きと 努力をして 笑顔あふれる 学校

目指す児童生徒像 <ul style="list-style-type: none"> ○自分らしく努力できる児童生徒 ○相手を認め、思いやりのある児童生徒 ○明るく意欲のある児童生徒 	目指す学校像 <ul style="list-style-type: none"> ○学びが楽しくなる学校 ○信頼される学校 ○地域にとって頼れる学校 ○働きやすく、働き甲斐のある学校 	目指す教師像 <ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒一人一人に向き合い、寄り添うことができる教師 ○学びが楽しくなる授業ができる教師 ○情熱を持ち実践する教師
--	---	--

- ↓
- ＜学校経営の柱＞
- 1 一人一人の発達段階に応じ、児童生徒にとって、学びが楽しく、個性を伸ばす教育を行う。
 ・的確な実態把握に基づく個別の指導計画の実施と評価、知的で学びが楽しくなる授業の実施、学びの質や深まりを重視する教育の推進、生徒のメンタルヘルスに配慮する教育課程の構築
 - 2 安心安全な環境を維持し、命と健康を守る学校環境づくりに努める。
 ・オンラインを活用した教育環境の構築、徹底した感染症対策の実施、防災教育及び体制の維持と更新
 - 3 学校・家庭・地域が連携し、社会に開かれた教育課程の実現に努める。
 ・オンラインを活用した授業実践の実施、地域・圏域に根ざしたセンター的機能の充実、肢体不自由教育並びに特別支援教育のノウハウの提供
 - 4 教職員同士が協力して、意欲に溢れ、働きがいのある学校づくりに努める。
 ・信頼関係や協働体制の充実、本校に合った働き方改革の推進、誇りある北海道の教育公務員としての自覚変化に主体的に対応できる教職員集団の構築

- ↓
- 今年度の重点目標
- ①オンラインを活用したハイブリッド型の授業実践とウィズ・コロナ教育課程の編成～白糠スタイルの構築と展開～ → 「進んで学ぶ人」
 - ②キャリア発達に即した生涯学習に繋がる取り組みの推進 → 「たくましい人」
 - ③生徒のメンタルヘルスに配慮した教育課程の構築 → 「思いやる人」

↓

重点目標具現化の主な手立て

①対面の授業を行うとともに、オンラインやリモート等を活用した授業実践を累積し、生徒に合った対面・オンラインを組み合わせたハイブリッド型の教育課程の編成を行う。	②児童生徒の一生涯を見据え、外部の体育文化イベント等に積極的に参加し、成功体験を積みませ、イベント等の参加を通して生涯学習や生き甲斐等を見つけていくことに繋げる。	③非認知スキルの獲得やより良いコミュニケーションの方法等を教育課程全般で指導し、生徒の自己肯定感や自己有用感を上げ、こころが元気になるようメンタルヘルスの予防に努める。
---	---	--

↓

今年度の研究テーマ

「何を学ぶか」と「どのように学ぶか」の先で「何が身に付いたか」の検証
 ～「何ができるようになるか」に着目した授業改善を通して～

